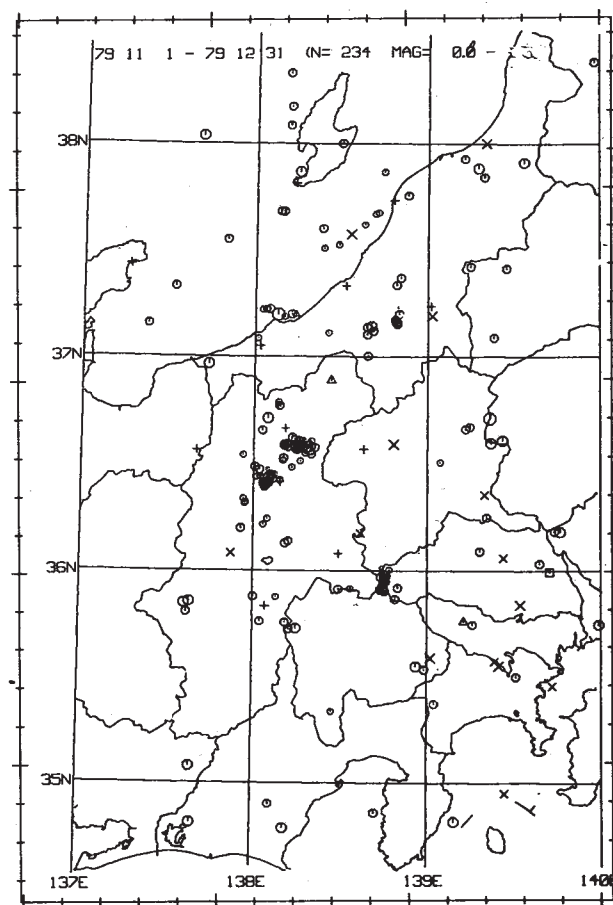


## 4 - 1 信越地域の地震活動 (1979年11月 - 1980年3月)

### Seismic Activity in the Shin-etsu District (November 1979-March 1980)

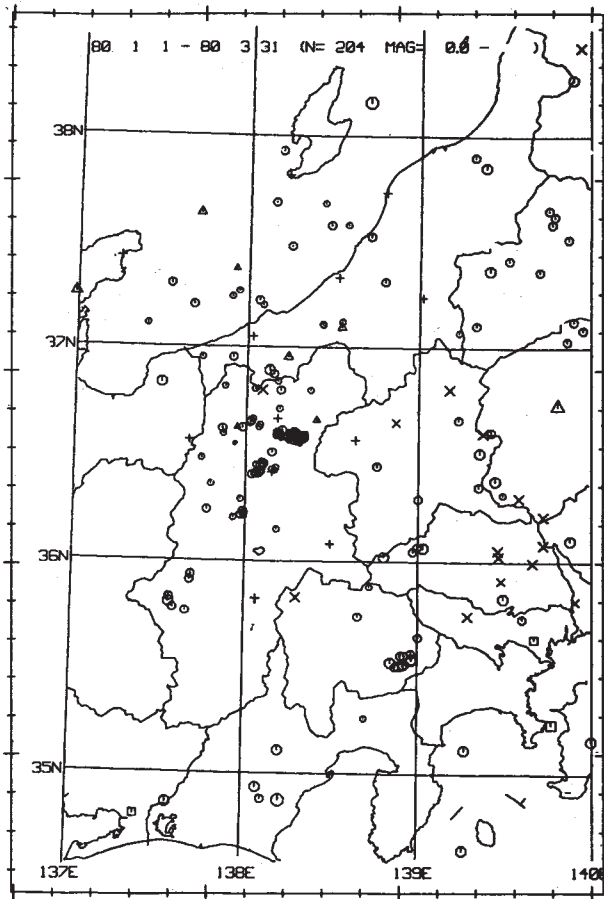
東京大学地震研究所 北信微小地震地殻変動観測所  
Hokushin Observatory of Micro-earthquakes and Crustal Movement,  
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

第1図は、1979年11月～12月、第2図は、1980年1月～3月の北信観測所のデータにより求められた震央の分布図である。両期間とも松代群発地震の活動域では、北東側と南西側に分れて活動が見られ、南西側では、11月16日にM 3.9、12月21日にM 3.6の地震が発生し多くの余震を伴った。なお11月16日には直江津付近にもM4.3の地震が発生した。11月11日頃と同月25、26日頃、長野県南東端の甲武信ヶ岳付近で最大M ≒ 2.2の小規模な群発地震があった(堂平観測所のデータも加えて震源が求まった地震は計28箇所であった)。その他には、目立った活動はなかった。



第1図 1979年11月 - 12月の震央分布図

Fig. 1 Distribution of epicenters in the Shin-etsu district, November-December, 1979.



第2図 1980年1月-3月の震央分布図

Fig. 2 Distribution of epicenters in the Shin-etsu district, January - March, 1980.